

ノロウイルスの予防と対応について（お知らせとお願い）

～「感染性胃腸炎」・「ウイルス性胃腸炎」・「お腹の風邪」・「胃腸風邪」「流行性下痢嘔吐症」・・・

診断名はいろいろですが・・・



ノロウイルスが流行する季節が近づいてきました。発熱や下痢、嘔吐でのお休みが、あゆみ園や館内ののぞみこども園で、ちらほらと増え始めています。

「ノロウイルス」の診断がされなくても・・・

強い下痢や嘔吐があっても、検査結果が出るのに時間や費用がかかったりするため、一般的な病院やお医者さんではノロウイルスの検査は行われません。そのため、表題にあるようないろいろな診断名で言われますが、基本的にはほとんどが「ウイルス性」であり、人にうつりま

登園はできません

そのため、ノロウイルスと言われていなくても登園はできません。繰り返し下痢や嘔吐をするなど、普段に見られない強めの症状があれば、必ず医師の診察を受けて「うつる胃腸炎かどうか？」を聞いてください。

登園の目安は、下痢嘔吐の症状が治まり、普通の食事がとれるようになっていることです(さくら・ちゅうりっぷは「登園届」が必ず必要です)。

塩素消毒

①おう吐物の処理

※ゴム手袋、マスクなどして素手でさわらないように・・・

①新聞紙や捨ててもよい布などで、汚物を広げないようにふきとる

②消毒液(作り方は右に)をティッシュなどにしみこませてふきとる

③ビニール袋に入れて口をしっかり結んで捨てる

※処理後は必ず手洗いを・・・

消毒液の作り方

用意するもの

①空の500mlペットボトル

②塩素系漂白剤(「混ぜるな危険」「次亜塩素酸ナトリウム」等と書いてあるもの)

ペットボトルのキャップに、②を1杯とり①に入れ、水を加えていっぱいにする

※金属はさびることがあるので10分後に水がききましょう。

(注)間違えて飲まないように注意!

② 汚れた衣類などは塩素系漂白剤などで消毒しましょう。

③ ドアノブ、トイレの便座なども消毒液で消毒を

給食調理による感染を嚴重に防ぐために食器の消毒を7日間行います。

ノロウイルスの場合、調理を介して感染した場合は「食中毒」という扱いになる場合があります。そうなれば給食の提供ができなくなります。

登園許可が出れば療育は通常通り可能ですが、調理業務は念のため食器を別にして消毒を行いますので、あゆみ園に登園していない日に医師に「うつる胃腸炎(診断名は問わず)」と言われた場合は、必ずグループの職員に伝えてください(登園が可能になってから7日目まで)。

下痢・嘔吐による汚れ物は

そのまま返却いたします。

感染拡大を防ぐために、療育中の下痢・嘔吐については、ビニール袋に密閉して、お持ち帰りいただきます。嘔吐などが広く服に飛び散った場合は、弱い消毒液をふりかけてから脱がせて密閉しますので、色落ちする可能性もありますが、ご了承ください。衣服は全て、ご家庭で次亜塩素酸液などで消毒してお洗濯ください。



主な症状

- ・吐き気・嘔吐・下痢
- ・腹痛・発熱など

